



▲丁寧に選別される特産のジャガイモ「マルヨシ」

竹原市吉名町で1月14日、特産のジャガイモ「マルヨシ」の選果が始まりました。主な品種は「デジマ」で、緻密で弾力があり甘味のある果肉が特徴。今作は9月に降雨が

あり初期生育は順調でしたが、10月以降の少雨により生育が停滞し、小玉傾向で一部で裂果も見られました。同町のジャガイモ栽培は100年以上の歴史を誇り、生産は縮小傾向にあるものの現在40戸が栽培に取り組み、産地を維持しています。JA竹原アグリセンターの大倉舜雨営農指導員は「天候に左右される厳しい年だったが、生産者は品質確保に努めてきた。特産として受け継がれてきた味を楽しんでもらいたい」と話しました。



特産ジャガ「マルヨシ」秋作選果

同センターの大美寛センター長は「夏場は高温少雨が続いたが日照時間に恵まれ、収量は少ないも

の品質は安定している」と話しました。



▲大豆を丁寧に検査する検査員



大豆検査 等級を格付け

JA久井ライスセンターで1月13日、大豆の検査を行いました。検査では、資格を保有する検査員が1袋ずつ目視で大豆の色や形状、成熟度合、病害虫による被害状況などを厳正に判別し、専用の機械を使って水分保有量を計測。生産者から持ち込まれた大豆「あきまる」332袋(1袋30kg)の等級を格付けしました。



▲くわ入れするJAの田中組合長



竹原支店建て替え 安全願い起工式

竹原市で2月3日、JA竹原支店の建て替えに伴い、起工式を行

ないました。JA役職員や施工業者など関係者約30人が参列し、工事の安全を祈願しました。同支店は建築から53年が経過しており、老朽化が進んでいることから隣接地への建て替えを決定しました。新店舗では耐震性を強化するほか、会議室や調理場を新設。支店ふれあい委員会や女性部による会合など各種活動に活用し、地域交流の場としての役割も担います。組合員や地域住民の暮らしを支える拠点として、安心して利用できる店舗づくりを進めます。



親子向けショーで食育

三原市のJAビルで1月17日、「JA共済プレゼンツ それいけ! アンパンマンミニショー&握手会」を開催しました。地域貢献活動の一環として開き、管内の親子84組277人が参加。マグロの解体ショーや同市特産「広島わけぎ」入りうどんの提供を行ない、地域の子どもたちへの食育や特産品のPRに取り組みました。参加した親子はステージショーでの歌や踊り、握手会などに笑顔を見せました。マグロの解体ショーでは大迫力の本マグロを職人が部位を説明しながら解体し、寿司に



▲大迫力のマグロ解体ショー



水稲

育苗のポイント

●塩水選

塩水選は、未熟な籾や病害虫に侵された籾を取り除き、健全な種籾だけを選ぶ作業です。良質な籾は重いため沈みます。浮き上がった籾を取り除き、沈んだ籾を種子として使用しましょう。うるちともちで塩水の濃度が異なりますので、ご注意ください。

●種子消毒

種子消毒は、初期の病害虫の発生を抑えます。希釈薬液を用意し、24時間浸けておきます。ネットを使用する場合、籾の詰め過ぎに注意しましょう。薬液中で上下にゆすって籾間の気泡を取り除きます。薬液は10℃以上とし、十分な量を用意しましょう。消毒後は水洗いせず、12時間以上陰干しを行ない、種もみに薬液を固着させましょう。

●浸種(水がし)

発芽には、水分と適度な温度が必要になります。水温は12℃で10日間、15℃で7日間とし、最初の2日間は水を換えないようにして、その後は1日1回ゆつくりと水を換えます。

●催芽(芽出し)

全ての籾がアメ色になったら催芽を行ないます。育苗器などを利用して、1mm程度に揃うようにしましょう。30℃で24時間が目安です。

高温の影響により、種籾の休眠が深くなっている可能性があるため、注意して見てください。

●播種(種まき)

育苗箱に床土を入れ、水がしみ通るまで十分にかん水します。水が引いたら籾を均等に播きます。量が多いと籾の持ち上がりが多くなるので注意しましょう。覆土後、育苗器などで出芽させます。

●緑化・硬化

温度管理に気を付け、初期は強い光に当たらないようにし、徐々に慣らしていきます。

苗丈が5〜6cmまで伸びたら日中風のない日は十分に光を当て、苗の充実を図りましょう。乾燥しているようであれば、午前中にかん水します。

草丈12〜13cm、葉の枚数が2〜2.5葉で、軸が太く、根張りが良いのが理想的な稚苗の姿です。

「恋の予感」は芽が出やすく、伸び

やすいため、こまめに観察し、苗の管理には注意しましょう。詳しくは、「2026年用稲作ごよみ」をご覧ください。

柑橘

せん定

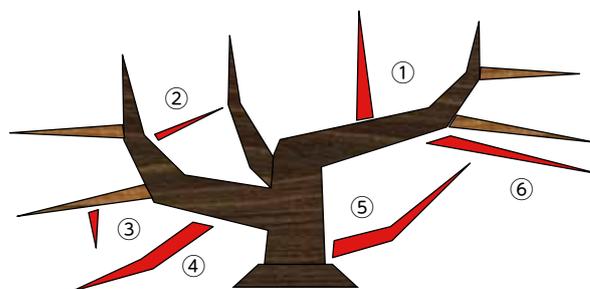
せん定が不十分な園地では摘果などの管理に労力がかかり、薬剤がかりにくく正品率が低下するため、暖かい園地から随時進めていきましよう。密植園の場合は2月号に記載しました間伐も合わせて実施してください。

・温州みかんのせん定

着花が多いと予想される園地では早めに開始し、春芽の発生を促進させます。着花が少ないと予想される園地では、せん定量は軽めに留めてください。

・中晩柑類のせん定

大玉生産をする上で着花量を抑え、春芽の発生を促すことが重要になります。樹冠内部まで日光が差し込むように、競合した枝や強勢な立ち枝、内向枝をノコで間引きます。合わせて黒点病やタンソ病(流れヤケ)の発生源となる枯れ枝を除去します。



枝番号	枝の種類	枝番号	枝の種類
1	立枝・徒長枝	4	地すり枝
2	返り枝・逆行枝	5	株元の強勢な枝
3	下垂枝	6	平行枝

落葉果樹

気温の上昇とともに発芽や開花が始まります。栽培されている落葉果樹の生育状況を確認しながら、発芽前の防除や栽培管理を計画的に進めましょう。

越冬病害虫の防除

2月号を参考に、発芽前に越冬病害虫の防除のため石灰硫黄合剤等を散布します。モモの縮葉病の防除は、この発芽前防除が重要となります。ただし、縮葉病対策としてモモは石灰硫黄合剤の変わりにトレノックスフロアブル500倍でも対応できます。



▲モモの縮葉病…主に葉に発症する。発芽期から展葉期にかけて雨が多いと発生を助長する。

春草の除草とかん水

落葉果樹の多くは、地下部の根が地上部よりも先に動き始めます。春草が繁茂すると養水分の競合、地温上昇の妨げとなり、発芽の遅れにつながります。少しでも地温を高めるため除草します。また、樹液流動開始以降の土壌の乾燥は、養分吸収や根の活動低下を招き、発芽の遅れや不揃いの原因となります。乾燥が続く場合はかん水します。

イチジクの挿し木について

イチジクは、挿し木で簡単に苗木が生産できます。3月上中旬が適期となり、せん定の際に健全な樹から穂木を採取し、図1のように挿し木します。挿し方は、畝立てした挿し床に、30cm間隔で芽が地際から少し出るよう、また上向きになるよう斜めに挿し込みます。また、挿し木する園地は、※ネコブセンチュウや※株枯病など病害虫被害のない園地を選んでください。

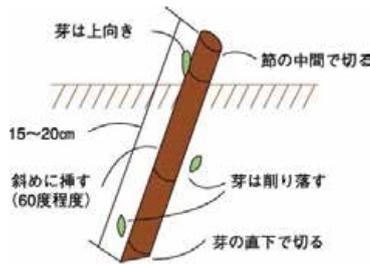


図1 イチジクの挿し木方法

※ネコブセンチュウは、イチジクの根に寄生しコブ状になると養水分の吸収が著しく低下し樹勢を低下させる。 ※株枯病に汚染された土壌にイチジクを植え付けたら、数年後に主幹の地際部を中心に発病し、濃褐色のあざ状やひび割れが確認され樹が枯死する。一部のアイノキクイムシが媒介するとされている。

モモの摘蕾について

モモは3月下旬頃より開花が始まります。蕾が丸く膨らんで赤みを帯びてきた頃に、枝の背中部にある蕾を指でしごいて摘蕾してやると、摘果の手間が省け貯蔵養分の浪費を防ぎ、新梢の初期生育や果実肥大の促進につながります。

家庭菜園

3月は春・夏の様々な野菜の播種が行なえる時期です。

野菜づくりでは「苗半作」という言葉があります。これは、苗の出来で作柄の半分が決まるほど育苗は

重要な工程であるということです。そんな育苗を失敗しないための方法についてご紹介します。まずは、良い苗の条件についてです。

良い苗とは…

- ・ 茎が太くまっすぐ伸びている
- ・ 葉の色が濃く厚みがある
- ・ 子葉が残っている

このような苗を作るためのポイントをご紹介します。



・ 培土

培土は専用の育苗用培土を使用しましょう。専用培土は生育初期に必要な肥料分を適度に含み、保水性・排水性も調整されています。さらに、病原菌を含んでいないため病気にもかかりにくいです。

・ 温度管理

春先は気温が高くないため、ビニール温室などを使用し、発芽適温に近づけましょう。また、この時期は放射冷却により夜温が低くなりやすいです。特に、地面は放射冷却の影響を受けやすいので苗は直接地面に置かず、台などの上に置き30cmほど地面から離しましょう。

・ 水やり

播種時はたっぷり水をやり、発芽まで乾かないように管理しましょう。発芽後は朝に水をやり夕方には

表面が乾く程度にしましょう。水のやりすぎは徒長の原因になります。

・ 日当たり

日当たりが悪いと徒長の原因となります。日当たりの良い場所に配置してあげましょう。

・ 風通し

少し風に当ててやることも必要です。風に当たることによって湿気が溜まらず病害の発生を抑制できます。さらには、適度な風は植物ホルモンの分泌を促進させ、徒長を防ぎ丈夫な苗へと育ちます。

・ 順化

最後に順化です。育苗期間中は整った環境下で栽培されていますが、圃場ではそうはいきません。いきなり、圃場に定植すると環境の急激な変化により初期成育が緩慢になってしまいます。定植7〜10日前から徐々に外気にさらす時間を延ばしたり、灌水量を少なめにしていきましょ。



苗づくりは非常に重要で大変な作業ですが、本圃での栽培とは別の楽しさもありますので、ぜひチャレンジしてみてください。



▶ Information お知らせ

もっと! みはらニュース!

JAせとだ選果場で柑橘の出荷が順調に進んでいます♪



1/6~ ネーブル

290戸が81haで栽培し、3月上旬までに530tを出荷する予定です。



オレンジ特有の華やかな香り。甘味と酸味のバランスが良く、ジューシーで濃厚な味わい。

1/9~ はるみ

262戸が48haで栽培し、2月末までに310tを出荷する予定です。



皮が柔らかくてむきやすく、果肉はぷりっと弾ける食感。高糖度で適度な酸味がある。

1/13~ ハッサク

291戸が78haで栽培し、3月下旬までに紅八朔と合わせて780tを出荷する予定です。



大玉で果肉がしっかりとおり、歯ごたえのある食感。清涼感のある甘さにすっきりとした酸味、ほのかな苦みがある。

ネーブルと
はるみは
生産量日本一



選果場では作業員が丁寧に傷の有無などを確認し、光センサーで糖度と酸度を計測！規格ごとに箱に詰めて出荷しているよ!

仏壇・墓石展示相談会

本郷アグリセンターで1月16~19日の4日間、仏壇・墓石展示相談会を開催しました。仏壇や墓石を特別価格で展示販売したほか、仏壇リフォームや墓石クリーニング、防草工事などのご相談を受け付けました。併せて、葬儀に関わる様々な事柄についての事前相談会も同日開催しました。

JAでは仏壇や墓石、葬儀に関するご相談を随時受け付けております。お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



4月 お知らせカレンダー

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30~17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00~16:00

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
				三原							三原					年金相談会		三原							三原			三原	
				三原西							三原西					竹原支店		三原西							三原西			三原西	
				本郷							本郷							本郷							本郷			本郷	
				久井							久井							久井							久井			久井	
				鷺浦							鷺浦							鷺浦							鷺浦			鷺浦	
				せとだ							せとだ							せとだ							せとだ			せとだ	
				竹原							竹原							竹原							竹原			竹原	